



## 社会福祉士って？

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 会長 土谷 長子

社会福祉士の資格ができてから既に20数年たちました。みなさまの身近に、社会福祉士の資格をお持ちの方はいらっしゃいますか？

日本において福祉を専門とする国家資格は、保育士資格、介護福祉士資格、精神保健福祉士資格、そして社会福祉士資格の四つです。このうち保育士資格は、多くの方が身近な資格として認識していると思います。また介護福祉士の方にお世話になっているという方も、多くいらっしゃると思います。では、社会福祉士は？

実はこの資格をもって福祉職で働いている人たちも案外たくさんいるのです。社会福祉士は相談業務を中心とする職ではあるものの、福祉現場の中では身近な職域の中に分散しています。この広報誌を通じて、社会福祉士の存在に気づいていただき、身近な社会福祉士と出会っていただくことを願っています。兵庫県社会福祉士会に所属する社会福祉士は、倫理綱領にのっとりた力量を備えた専門職です。誰もが直面するであろう生活の様々な課題と一緒に取り組んでいく専門家として、みなさまと出会いたいと思っています。

どうぞよろしく願いいたします。

社会福祉士会は、社会福祉に関する実践、研究、交流を通して社会福祉士としての専門的知識や技術等の向上を図り、社会福祉の援助を必要とする人々の生活と権利の擁護及び社会福祉の発展に寄与することを目的としています。

私たちはみなさまの希望を尊重し、家庭環境、生活状況や心身の状態などに配慮しながら、みなさまにとって最も良い方法で支援します。

## 社会福祉士は 相談援助の専門職です。

### ささえる

例えば、病気、障害、生活資金、悪質な詐欺、子育て、災害…。私たちは生きていく上で様々な困難や危機に出会います。

そのような時、みなさまの生活を「ささえる」法律や制度、地域にあるサービス、必要となる情報などの専門的な知識と支援が必要になります。みなさまに適切な助言をし、生活を「ささえる」チカラになることが私たち「社会福祉士」の仕事です。

### つなぐ

福祉に関する悩みや困りごとを、解決するために最も適したサービスに「つなげる」という役目を担います。また地域の専門職・関係機関・インフォーマル資源と連携し、みなさまにとって必要なネットワークを展開することで、地域の中での豊かな生活に「つないで」いきます。

### まもる

私たち社会福祉士会は「権利擁護センターぱあとなあ」を設立し、高齢や障害などにより日常生活にお困りの方の権利を「まもり」、必要な制度や福祉サービスを利用できるように支援を行います。

また高齢の方や障がいのある方やこどもたちを「まもる」ため自治体や弁護士などの専門職と連携し、虐待防止にも積極的に取り組んでいます。

高齢者.....

経済的困窮..

児童.....

更生.....

母子.....

成年後見...

障がい者(児)

虐待.....

ホームレス..

その他.....

## 社会福祉士が活躍する場は身近なところに

■福祉施設

■地域包括支援センター

■居宅介護支援事業所

■行政相談窓口

■医療機関

■独立型社会福祉士事務所

■障害児者相談支援センター …など

兵庫県社会福祉士会は、社団法人日本社会福祉士会の兵庫県支部として、1993年7月に発足しました。2009年には一般社団法人格を取得いたしました。

2013年の7月には任意団体設立から20周年を迎えました。

本会では、研修、情報提供、学会活動等を実施し、社会福祉士の自己研鑽と資質の向上を目的とした活動を行っています。

## ● 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会の活動

1. 設 立 2009年4月（任意団体兵庫社会福祉士会としての設立は1993年7月）
2. 会 員 数 1,405名（2013年6月末現在）
3. 組 織 ブロック(下記の県内7地区ブロックにおいて、会員の組織化と相互の交流を図りながら、地域の特性を生かした活動を積極的に行っています。)
4. 委員会活動 下記の活動等を行っています。

### ブロック

#### 神戸ブロック

神戸ブロックは会員数443名と県下では一番大きなブロックです。

ブロック内には大学をはじめ専門学校、また弁護士会、司法書士会、介護福祉士会等の協会、あるいは、福祉関係機関なども数多く、これら諸団体との関係を築きたいと考えております。広報紙の発刊がその第一歩となり、さらなる関係づくりを目指します。今年度は研修会に重点を置いておりますが、社会福祉士会の会員のみならず、広く一般の方にも間口を広げております。関心のある方はどうぞご参加ください。研修内容等は当会のホームページ等で逐次掲載しますのでご確認ください。

#### 阪神ブロック

阪神ブロックの会員数は400名を超え、神戸ブロックに次ぎ、県下では二番目に大きなブロックです。

ブロック活動は、2ヶ月に1回の役員会を開催するとともに、主に4つの地域部会(尼崎、芦屋・西宮、伊丹・三田・宝塚、猪名川・川西)と、3つの専門部会(障がい部会、地域包括部会、事務局部会)を中心に、部会ごとに施設見学や勉強会などを企画し、地域での活動を展開しています。

また、毎年秋には「定例学習会」を開催し、その時々福祉課題をテーマに学習を深めるとともに、2012年度からは、入会されて間もない方々に呼びかけて、「新人勉強会」を開催し、新たな仲間づくりも図っています。

さらに、2011年度から「まちかど相談会」を阪神ブロックにおいても取り組み、地域に根ざした社会福祉士を積極的に地域へPRするように務めています。

#### 東播ブロック

明石市、加古川市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、多可町、稲美町、播磨町の8市3町を圏域とする東播ブロックでは、地域性を重視した研修事業を通じて、福祉専門職としての研鑽機会の提供と地域活動に有意な環境づくりを目指しています。2011・2012年度に実施した「権利擁護研修」では会員以外のみならずにも多数の参加をいただき、そのご好評を受けて今年度も開催の予定です。その他、各種交流事業を実施しております。

「一般社団法人兵庫県社会福祉士会東播地区ブロック ブログ」で活動の最新情報をご案内しております。どうぞご利用下さい。

## 西はりまブロック

西はりまブロックは2007年10月に発足し、6年目のブロック活動に突入しました。所属会員数は現在、約190名。ブロック区域は相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市、姫路市、上郡町、太子町、佐用町、市川町、神河町、福崎町の5市6町からなっています。2012年度はNPO東濃成年後見センターの渡辺哲雄先生をお招きし、ブロック初となる全体研修会(社会福祉講演会)を姫路市で開催しました。会員のみならず地域の福祉関係者、一般市民の参加者も多く、成年後見制度や権利擁護への関心の高さをあらためて感じました。2013年度も昨年度に引き続き、全体研修会の実施にむけて研修担当役員が中心となって企画しています。これからも西はりまブロックをよろしく願いいたします。

## 但馬ブロック

県北部の但馬は、コウノトリの舞い飛び豊かな自然環境の中で伝統文化と家族の生活を継承し続けようとする人たちが今なお多く暮らし、その誇りにみちた生活を力強くまもっていかようとしています。しかし、過疎化の波は激しくこの広大な範囲の但馬全体を覆っており、そして、少子高齢化、家族の崩壊、虐待、貧困、成年後見等の現代社会問題は都市部と同じく激しく噴出して、今まで以上に社会福祉の専門的対応が広範囲に必要になっています。私たち但馬ブロックは高齢者、障がい者、医療、教育、行政等と幅広い分野の仕事を持ちながら、但馬の生活環境の中で、共に生きる生活者として、地域をまもっていくためのソーシャルワークを模索しています。今後は特に医療・司法・行政との連携を深め、この地域の未来像が新しい日本社会の在り方のモデルとなることをめざし、地域生活ネットワーク構築のキーパーソンとして地道に動き続けます。

## 丹波ブロック

丹波ブロックは会員数40名弱と非常に小さいブロックですが、身の丈に合った活動を展開しています。最近までに、「障がい者・家族の生命尊重と暮らし」、「成年後見制度の活用」、「震災・地域福祉」等のテーマによる講演や研修会、但馬ブロックとの合同施設見学会、社会福祉士の啓発活動を行ってきました。兵庫県の中央、山間部であり、働く場は少なく阪神間その他に依存しやすく、家族の老齢化や社会的孤立化も避けて通れない時代に突入しています。それだけに改めて、コミュニティに支えられた福祉の街づくりが重要です。私たちも微力ながら、その一助となれるように努力していきたいと思っています。

## 淡路ブロック

淡路ブロックは、立ち上がって5年目を迎えたばかりの地区ブロックです。淡路地区の社会福祉士との交流会のほか、他の福祉関係団体との交流を行っています。年に1回、地域住民向けのまちかど相談を行っています。2013年度は、勉強会や研修会を計画して社会福祉士の質の向上をはかるとともに、相談会の開催や地域の催しに参加するなど淡路島の福祉事業に協力していきたいと考えています。

# 委員会

## 生涯研修センター

社会福祉士は国家資格取得がスタートです。各自、生涯を通じて自らの専門性及び能力を高めていく必要があります。しかし、資格の取得はあくまでも専門職で実践を行うための“スタートライン”であり、それ自体が実践力を証明しているわけではありません。本会では社会福祉士としてふさわしい専門的な力量の獲得を支援するために生涯研修制度を定めています。この制度に基づき本会は生涯研修センターを設置しています。生涯研修センターでは、新人社会福祉士の育成と認定士会福祉士の養成、社会福祉士の専門性の向上に関する支援、そして資格制度の充実発展並びに普及・啓発のために、生涯研修事業に取り組んでいます。

## 福祉相談センター「ここねっと兵庫」

ここねっと兵庫では、福祉に関する悩み、困りごと等相談内容によって兵庫県社会福祉士の各分野の専門委員会が、電話・FAX・メールを活用して対応します。

電話:078-222-8107(10:00~16:00 年末年始を除く平日) /FAX:078-265-1340

メール:coconet-hyogo@hacsw.or.jp 回答には一週間程度時間を頂く場合があります。

※社会福祉士の相談、活動に関することは、社会福祉士会にお気軽にご相談下さい。

## 研修委員会

研修委員会は社会福祉士会生涯研修センターにて委員会独自の研修の企画、運営、また他の委員会やブロックと共同して、社会福祉士の基本的な知識をつける基礎研修の運営にたずさわっています。研修以外には施設見学会や交流会などを通じて会員の方々の交流の場も提供しています。17名の委員がおり、協力して活動に励んでいます。

## 調査研究委員会

この委員会では、毎年、研究誌「兵庫社会福祉士」を編纂し、会員の皆様に報告し、第13号まで発行してきたところです。

本会が主催または共催した講演会・研修会、各ブロックでの活動、各会員からの自由投稿などを織り交ぜながら、「これからの社会福祉士はどうあるべきか」を常に問いかける意識を大切にしながら発行してきました。

かつての阪神淡路大震災に、多くの理解者と支援者を得て、私たちが立ち向かう対象者の生活困難性にどこまで接近できるのか、正に、地中奥深くのマグマに匹敵するほどの問いかげが必要とされました。その根底の掘り起こし作業を文書の力を通じて、今後も問いかけていきたいと思っています。

## 国家試験対策委員会

県民のみなさまこんにちは。私たちは、兵庫県社会福祉士会国家試験対策委員会です。

国家試験対策委員会は、年に1回、1月に実施される社会福祉士国家試験を受験し、合格を目指す皆様を受験対策という面から応援している委員会です。

国家試験対策委員会は、毎年、9月~10月に開催する“社会福祉士国家試験受験対策講座”や試験日当日まで応援する“受験対策ゼミナール”“直前対策講座”などを開催して、受験生の合格までを力強く応援しています。

また、受講生の方々からは大変好評いただき、合格率も毎年全国平均の2.5倍を誇っています。

そして、本会の受験対策講座を受講し、合格された方には、合格祝賀会を開催し、本会をあげて合格を祝福し、新しい仲間を歓迎しています。

私たち国家試験対策委員会は、新しい仲間を迎えるために日々、活動しています。

## 広報委員会

広報委員会は、社会福祉士会の活動に関する広報、会員相互の意識向上及び情報交換を実施し、様々な活動内容の広報を行い、市民の皆様にも認知されていくことを目的としております。社会福祉士会の活動の紹介のために、市民の皆様向けの広報誌の発行とホームページの運営を、会員相互の情報交換のために、会員向けの機関誌の発行、会員用のメーリングリストの管理等の活動を行っております。

ホームページにおいては、スピーディーな情報公開を心がけております。ぜひご覧ください。

## 相談委員会

相談委員会は、高齢者分野、障害者分野、権利擁護等さまざまな分野に所属している者が会員となり活動しています。活動内容は、毎月第2土曜日、兵庫県福祉センター5階の社会福祉士会事務所にて、予約なしで、無料「福祉なんでも相談」を午後1時から4時まで行っています。各回2名の委員会メンバーが来所の方や電話の対応を行っています。相談者の相談内容を傾聴し、解決の糸口を見つけられるように活動をしています。また、各ブロックで行われる「介護の日」に合わせたイベントや地域の祭りにも「相談ブース」を設けて活動しています。

何かお困り事がありましたら、お気軽にご相談いただければと思います。

## ケアマネジメント研究委員会

ケアマネジメント研究委員会では、これまで、ケアマネジメント、対人援助技術の基礎についての情報交換会や、学習会などを開催し、研究の成果物として「アセスメントの指標」「あなたを育てる対人援助の本」(久美出版)「相談援助でお悩みのあなたへ」(久美出版)の執筆活動などを行ってきました。

執筆活動を通して、再度ソーシャルワークの基礎を学び直す必要性を感じ、2010年の7月からは、「ソーシャルワーク・トリートメント」(フランス・シス・J・ターナー編集・中央法規)の学習会を、概ね隔月に1回、日曜日の午前中に継続して開催しています。

これまでは、総論的な部分、システム理論、認知理論、役割理論、自我心理学理論、物語理論(ナラティブ理論)、交流分析理論、ライフモデル理論、課題中心ソーシャルワーク、心理社会的理論、問題解決理論、精神分析理論、行動理論、クライアント中心理論、機能理論、コミュニケーション理論などを学んできました。堅苦しい勉強会ではなく、気さくな雰囲気の中で、参加している委員それぞれが、日頃の実践についての検証や、報告をしたり、悩みの相談をしたりしながら、理論を身につけるべく参加しています。

## 高齢者虐待対応委員会

高齢者虐待対応委員会は主に虐待の防止、早期発見、対応、啓発活動をしています。具体的には、兵庫県弁護士会と「高齢者虐待対応専門職チーム」を組織し、県下市町に研修を積んだ専門職を派遣しています。また、市町へ個別のアドバイスや虐待に関する研修の実施、民生委員の方々や介護保険事業所への研修もしています。地域包括支援センターや行政の担当者を対象とした『高齢者虐待対応現任者標準研修』を年1回開催しています。ぜひ、一度、当委員会へご相談下さい。

## ばあとなあ兵庫

ばあとなあ兵庫は、成年後見に関する次のような活動を行っています。

第一は、成年後見制度の普及や啓蒙の活動です。成年後見制度に関する研修会や勉強会の講師を派遣しています。お気軽にご相談下さい。

第二は、成年後見等の申立支援の活動です。「成年後見制度の利用を考えているが、説明が聞きたい」「申立の方法や申立書の書き方を教えて欲しい」等々、成年後見等の申立に関するあらゆる相談を受け付けています。ご要望があれば、ご本人の所にばあとなあ会員を派遣します。

第三は、後見人等の紹介・受任の活動です。現在「ばあとなあ兵庫」には300名が登録しており、受任件数は600件を超えています。会員同士の交流や事例検討会、弁護士会や司法書士会との交流等により、研鑽を重ねています。申立段階での後見人等候補者の紹介も行っています。安心してご相談下さい。

## 地域包括支援センター支援委員会

当委員会は、2006年の介護保険制度改正に伴い創設された地域包括支援センターに配置される社会福祉士を支援する目的で立ちあげました。現在、県下からメンバーが定期的集まり、情報交換や地域で起きている課題を共有し、解決に向けた対応を考えるなどの活動をしています。具体的には、初任者を対象とした研修の開催や、兵庫県介護支援専門員協会・兵庫県看護協会と協同で連絡会を作り、県下の地域包括支援センターの活動を支援する仕組みを準備しています。地域包括ケアの確立に向けて、現状と課題を明らかにし、各地で頑張っている社会福祉士と共にその解決に取り組んでいきたいと考えています。

## こども家庭支援委員会

こども家庭支援委員会では、単に児童福祉として捉えるのではなく、「こども」、「保護者」、「こどもと保護者」という、それぞれの視点からの支援を探っていきたくと計画しています。委員会活動としては、こどもの「生きる権利」や「自尊感情」、「エンパワメント」について、深く掘り下げ、検討していくことが出来る場になることを願っています。

その中でも今年度は、特に昨今話題に上がる「いじめ」や「貧困」に関して、取り扱って行きたいと考えています。また、兵庫県下に配置されている「スクールソーシャルワーカー」との行動連携も視野に入れた取り組みを目下計画中です。

## 実習教育支援委員会

実習教育支援委員会は、社会福祉士取得を目指しているみなさまのために、「相談援助実習」からの学びをより実践的に深めるサポートをしています。

相談援助の専門職である社会福祉士が国家資格として位置づけられたのは1987年。以降、社会の変化に伴い一般市民が抱える生活問題は多様化・複雑化し、専門職に相談援助を頼むことも日常化してきた昨今。2007年の法律改正では、社会福祉士の「専門的実践力」の一層の養成が必要であるとされ、「実習の質の担保と標準化」を目標に実習教育に関して具体的な変更が実施されました。

2007年以前に社会福祉士を取得している人も多いため、実習関連事項の変更を現在活躍中の社会福祉士に伝えるとともに、社会福祉士養成校教員のみなさまのご協力のもと、実習受け入れ施設・機関の実習指導者である社会福祉士への講習などを定期開催しています。

これからも、「利用者の最善の利益を目指した後継者育成」を推進するため、社会福祉士に興味を持つみなさまとの交流を積極展開していこうと考えています。

## 障がい福祉委員会

障がい福祉委員会は、「障がい者」の相談従事者や障がい者支援に興味を持っている会員が集まり、知識を深める場として活動しています。事例検討会を開催し「障がい」を理解する場として話し合いを行っています。2013年度は、障害者虐待防止法の施行にともない「虐待」をテーマに意見交換や情報交換が主な活動内容です。虐待が起こってしまうのは何故なのか、対応策は何なのかを話し合っています。また、高齢者虐待対応委員会と連携を図り、虐待防止の啓発活動を目的とした勉強会にも参加しています。虐待は身近な問題です。一日も早く地域のみなさまと交流を持ち、お役に立てるようになりたいと思っています。

## 更生支援委員会

更生保護とは犯罪を犯した人や非行のある少年を社会内で適切に支援することにより、その再犯を防ぎ、非行をなくし、これらの人々が改善更生することを目指すことによって、社会を保護し、個人及び公共の福祉を増進する事を目的とするものです。こういった更生保護に係る支援は、矯正施設を退所した人へのいわゆる出口支援のみならず、被疑者・被告人段階の入口支援も含んでいます。

更生保護は2009年度からの社会福祉士養成新カリキュラムにおいて専門科目となりました。また、2012年12月には日本更生保護学会が発足し、学術的にも体系化しつつあります。

犯罪を犯した人や非行のある少年は、ある意味身近な存在であり、福祉的支援の対象者であるともいえます。更生支援委員会は、社会における支援としての更生保護について、そのあり方と実践について、定例会や研修会などで研鑽を重ね社会福祉士としてのソーシャルワーク実践に活かしています。

## 独立型社会福祉士支援委員会

個人事務所や株式会社、NPO法人などの独立開業型の社会福祉士が、みなさまの地域でも活躍していることをご存知でしょうか。まだまだ少数派ながら、独立開業して奮闘する社会福祉士をつなぎ、応援しているのが、独立型社会福祉士支援委員会です。既に独立開業した、あるいはこれから独立開業を目指す社会福祉士会会員に向け、職業倫理・経営を学ぶ「研修会」、福祉事業の展開方法などを諸先輩に学ぶ「実践報告会」、情報交換や人脈づくりを目指す各種交流事業を実施しています。

## 精神障がい者等退院支援チーム

当チームは、2008年度から2年間「神戸市退院支援アドバイザー業務」を神戸市より受託し、退院支援アドバイザーを配置するとともに、退院支援マニュアルの策定を支援するため、組織化され活動をしてきました。

これまでの退院支援のノウハウを生かし、2カ月に1回、神戸市・伊丹市・尼崎市の退院支援員や病院、障害、行政、相談委員会等の方々、医療機関、相談支援事務所、行政、本会相談委員会等の方々に参加し、支援会議を開催しています。毎年11月頃に拡大学習会を開催しています。



### ■兵庫県社会福祉士会の事業内容■

- ・社会福祉に関する情報提供及び相談事業
- ・権利擁護に関する相談事業
- ・成年後見・後見監督に関する事業
- ・社会福祉士等の養成支援に関する事業
- ・地域包括支援センターへの支援に関する事業
- ・社会福祉従業者研修に関する事業
- ・路上生活者支援に関する事業
- ・児童虐待防止・子育て支援等子ども家庭支援に関する事業
- ・福祉サービスの質の向上のための評価に関する事業
- ・社会福祉及び社会福祉士に関する調査研究事業
- ・県・市町村の福祉計画への参画・提言
- ・その他この法人の目的を達成するために必要な事業

■現在の会員数 1405名（2013年6月末現在）

### 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会

〒651-0062

神戸市中央区坂口通2-1-1

兵庫県福祉センター5F

電話：078-265-1330

FAX：078-265-1340

※月～金曜日の9:00～17:00の間で対応させていただきます。

●阪急王子公園駅下車歩10分 ●JR灘駅下車歩10分

●市バス90・92系統 上筒井1丁目停歩1分

